

今日の1冊

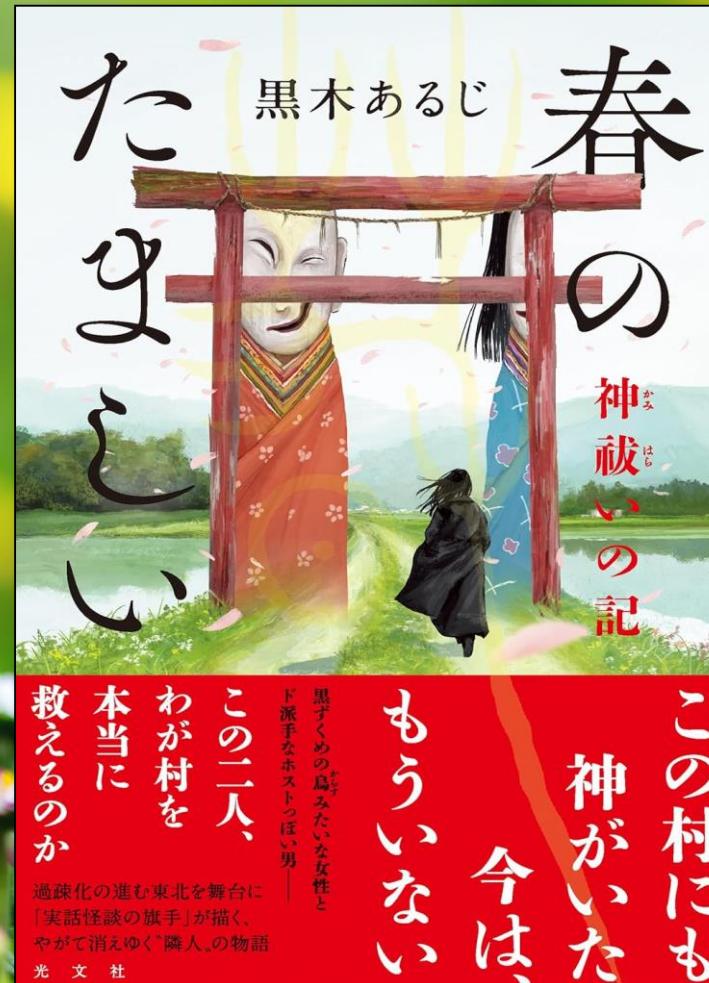
【内容】

「祭り」が行われなくなり、八百万の神々が怒り、暴れだして異変が頻発する。祭祀保安協会の九重十一とアシスタントのハ多岬は、荒ぶる神々を鎮め、処分していく。『小説宝石』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

春のたましい

神祓いの記

黒木 あるじ 著



【著者紹介】

黒木あるじ（くろき・あるじ）
青森県生まれ。東北芸術工科大学卒業。「震」でデビュー。
『幽』『怪談実話コンテスト』ブンまわし賞を受賞。ほかの著書に
「山形怪談」など。